

平成24年9月9日
今週のベストショット



青松園A 三苦フレンズ 対 奈多フェニックス戦

首位フェニックスをあと一步のところまで追い込んだヤングフレンズの山口大輔投手（写真左、20歳）と池見投手から同点のタイムリー三塁打を放った1番生野拓磨選手（写真右、19歳）。これからの期待！！

（写真：雁ノ巣ライナーズ 三宅基裕）

青松園B

奈多クラブ（2勝10敗0分）12100 4 今林（祐）●一赤沢

奈多サンデーズ（9勝1敗1分）91010 11 塚本〇、江口ー荒口

HR：安部（健）（奈多ク）3BH：上野（奈多ク）2BH：八島（奈多サ）

一回表奈多クラブは、3番安部（健）選手の右越えソロHRで先制したが、その裏サンデーズは、奈多クラブ今林（祐）投手の大乱調により8四死球と2番江口、4番八島選手の2本のタイムリーで9点を返した。二回表逆転したい奈多クラブは、6番赤沢、7番今林（祐）選手の連続安打から2点を返したが、その裏サンデーズに守備の乱れをつかれ1点を追加された。三回表奈多クラブは、一死後4番今林（祐）選手が四球、5番砂場選手の右前安打で一三塁とし、6番赤沢選手の二ゴロの処理で堅守サンデーズには珍しく守備の乱れから1点を返した。その後は両投手の粘投と好守があり無得点であったが、四回裏サンデーズは、5番野々下選手の2盗塁や2四球で満塁とし8番荒口選手のタイムリーでダメ押し1点を追加した。五回表からはサンデーズ二番手江口投手が三者凡退に抑える好投を見せ、結果は11対4でサンデーズが勝利した。が、二回以降は両チームとも互角の戦いであったために、初回の大量失点が痛い結果となった。（記事、写真：三苦ホーネッツ 永島貴文）



初回先制 HR の奈多クラブ3番安部（健）選手。



一回裏WPでホームに突入するサンデーズ前田選手。



三回表、奈多クラブ今林(康)選手「この当たりが抜けていれば…」。



四回裏、サンデーズ荒口選手のタイムリーで生還する、この回2盗塁の野々下選手。



四回裏、満塁で三ゴロゲッターを取る奈多クラブ安部(慶)三塁手。



大量点に守られ、力投するサンデーズ塚本投手。

奈多グラウンド

三友クラブ (3勝8敗0分) 005010 6 足達●-清原

塩浜ジャガーズ (5勝6敗0分) 30233x 11 道喜○-堀内

3BH: 森野(三友ク)、佐藤(塩浜ジ) 2BH: 駄原(三友ク)

一回表三友クラブは、1番大坪選手が内野安打で出るもその後を抑えられ無得点。一方塩浜ジャガーズは1番から三連打で先制すると、4番堀内選手の犠飛、6番今林秀選手のタイムリーで3点をリードすると三回表、4番駄原、5番森野選手の連続タイムリーなどで一挙5点を奪って逆転。しかしその裏ジャガーズは、2番からの好打順でランナーを溜め、代打河島選手が2点タイムリーを放ちすぐさま追いつく。その後も3点ずつ加え合計11得点。三友クラブも五回代打で登場した入口選手がタイムリーを打ち1点を返すも、逆転することはできなかった。四球やエラーが少ない試合で、乱打戦ながらもテンポの良い、速い試合展開だった。ジャガーズは主力4人を欠きながらも、チーム一丸となって勝利を収めた。(記事、写真:新町パイレーツ 安部貴大)



FPで出場の三友クラブ足達投手。



往年の下投げ 塩浜ジャガーズ道喜投手。



3安打を放った ジャガーズ3番稲富選手。



三回から途中出場して4打点をあげたジャガーズ河島選手。



三回表、バントでもかき回して5点を奪う三友クラブ。



三回表、猛攻を見せた三友クラブ。



最終回にヒットで出塁 三友クラブ2番竹岡選手。



最終回に三塁打を放った三友クラブ5番森野選手。



喜びに沸く試合後のジャガーズベンチ。

雁レク 8

ソルトベスターズ（5勝6敗1分） 2 0 0 3 6 1 1 中村（耕）○ー酒井

レッドサンデーズ（2勝10敗0分） 1 3 1 0 1 0 6 嶋村、土師●ー三船

3BH：酒井（ソルト） 2BH：嶋村（レッド）

一回表ソルトベスターズは、一死二三塁で4番田中（広）選手のレフト前で幸先よく2点を先制。その裏レッドサンデーズも一死三塁で3番嶋村選手のセンター前で1点を返す。二回表ソルトは、二死一三塁から一塁ランナー森選手の盗塁失敗など、二回以降流れが悪くなり四回までチャンスでも無得点。逆に流れに乗ったレッドは二、三回と嶋村選手の二打席連続タイムリーなどで3点をリード。しかし五回ここまでソルトを2失点に抑えてきたレッド嶋村投手が三者連続四球の無死満塁のピンチで土師投手と交代。ここでソルト5番中村（耕）選手がタイムリー、8番田中（裕）選手の犠牲フライで5-5に。レッドはその裏、ランナー二人を置いて8番田村選手のライト前で再び1点リード。しかし勢いに乗ったソルトは、7番酒井選手の三塁打や代打真弓選手のタイムリーなど、この回ヒット6本を集中させ見事な逆転勝利。（記事：新町ウインズ 桐島司、写真：早田主大）



ソルト VS レッド試合開始！



一回表、先制打を放ったソルト4番田中広孝選手。



バントでランナーを進めるレッド田浦選手（69歳）。



三船選手の打球にソルト森哲也遊撃手が追いつくも内野安打。



フライに飛びつくレッド二番手の土師投手。



一時は勝越し打となるライト前を放ったレッドのアイドル田村選手。



勝越し打を放ったソルト3番中村(健)選手。



満塁からダメ押しとなる三塁打を放ったソルト酒井選手。

青松園A

三苦フレンズ (1勝9敗2分) 0 4 1 0 0 5 山口●-佐藤

奈多フェニックス (11勝1敗0分) 4 0 1 2 X 7 池見○-実延

3BH: 生野(拓)(三苦フ) 2BH: 今林(文)、今林(英)、実延(奈多フ)

一回裏奈多フェニックスは、三苦フレンズ山口投手の立ち上がりにも3本のヒットを絡め4点を先制。二回表反撃に出たい三苦フレンズは、四球とヒットの走者が生還し2点を返すと、二死一二塁から1番生野(拓)選手の三塁打で早くも同点に。続く三回表にも1点を追加し逆転に成功。リードを許したフェニックスは三回裏、エラーのランナーを無死で三塁まで進めると、7番太田選手がきっちりと犠牲フライを放ち再び試合を振り出しに戻す。首位をキープする為に絶対に負けられないフェニックスは四回裏、ヒットと四球で一死一二塁とし、迎えるバッターは5番実延選手。この場面で試合を決める走者一掃のタイムリー二塁打で2点の勝ち越しに成功。五回表の三苦フレンズの攻撃も最多勝タイの池見投手が三者凡退に抑えゲームセット。白熱のシーソーゲームも、奈多フェニックスが首位の底力を見せた試合となった。(記事: 雁の巣ライナース 池内礼信、写真: 三宅基裕)



辛くも勝利した奈多フェニックス池見投手。



首位フェニックス相手に真っ向勝負! フレンズ山口投手。



初回二塁打を放つフェニックス2番、今林文彦選手。



初回タイムリーヒットのフェニックス4番今林英二選手。



二回表、タイムリーヒットを放つフレンズ8番御手洗選手。



二回表、同点の三塁打！フレンズ1番生野拓磨選手。

第21週 編集後記

WSLの皆さん、こんにちは！

9月9日、救急の日は4試合が行われました。救急患者さんと接する機会が多い私は、皆さんが怪我や病氣なく元気にソフトボールに打ち込めることを願っています。

青松園Bの奈多クラブ対奈多サンデーズ戦は、初回奈多クラブ3番の阿部（健）選手がサンデーズ先発の塚本投手から右中間へHRを放ち先制。噂には聞いていましたが、凄いスラッガーが入団したものです。しかし、塚本投手は次の打席で見事三振に切って取り、男気を見せました。打線好調な奈多クラブでしたが、初回の失点が大きく4-1でサンデーズの勝利。試合後奈多クラブの方が「二回以降はいい勝負」と言っていました。これは私の感想ですが、優勝争いをしている奈多サンデーズと名門ながら下位に低迷している奈多クラブとでは試合に臨む姿勢から言って全く違うと思います。若手がある選手からいつも電話で起こされているとも聞きます。仮にも前年優勝チームとの対戦なのですから、もっと覇気を持って臨んで欲しいと思います。

青松園Aの三苦フレンズ対奈多フェニックス戦は、ヤングフレンズの躍動を感じました。新入団の山口投手-佐藤捕手バッテリーに1番生野（拓）選手ら若手の活躍もあり、初回フェニックスに4点を先制されるものの、あの池見投手からすぐ4点取って追いつき、逆転までしました。今までのフレンズからは考えられません。第19週編集後記にも書きましたが、フレンズは足りなかったあと1、2枚が揃いましたね。私は隣のBグラウンドからフレンズに念を送っていましたが、やはりフェニックスの方が1枚上手で、同点で迎えた四回裏に実延選手の値千金の勝ち越し二塁打が飛び出し万事休す。しかし、今後、来季に期待を持てる一戦でした。どこかフェニックスを止めて～。

奈多グラウンドの三友クラブ対塩浜ジャガーズ戦は、ジャガーズエース内田投手の不在を道喜投手の粘り強いピッチングで埋め、打っても三友足立投手に13安打を浴びせ11-6でジャガーズが勝ちました。13安打中長打は5番佐藤選手の1本だけと、いかにコツコツ繋がったかがわかります。三友クラブも三回表に5連打を連ね、一時逆転したものの、ジャガーズの勢いを止められませんでした。ジャガーズ道喜選手は前日の暑気払い会で一緒に飲んで語りましたが、いい活躍でしたね。おめでとうございます。

雁レク8のソルトベイスターズ対レッドサンデーズ戦は、ソルトが先制、同点、逆転、ダメ押しと効率の良い攻めで11-6と勝利しました。あと1勝で五分に戻せますね。レッドは若手投手育成という今期の課題とチーム勝利の間で、三船監督兼捕手も大変そうです。レッド投手陣のスタミナというより、チーム自身のスタミナが最後まで持たない状況に見えます。こういう時こそ若手、中堅、ベテラン一丸となって、残り1試合を勝利して欲しいです。

9月16日は台風のため、全試合が中止で10月に延期。そして奈多サンデーズ出場の福岡市No. 1を決める福岡市会長杯も9月30日に延期となりました。折角山崎事務局長さんが自チーム三球会との対戦を延ばしてまで日程的にサンデーズ勝利に貢献していただいたのですが、天候ばかりは仕方ありません。9月30日は日程通り和白リーグを行って、福岡市会長杯に出場します。お時間のある方は、他のリーグの強豪チームも見れますし、是非雁ノ巣レクリエーションセンターへ足を運んで下さい。

9月22日(土)の4地区対抗戦は、青松園グラウンドで行われます。執行部と運営委員さんは朝8時に集合です。またこの大会模様もHPに載せようと思いますので、もし編集委員さんで出場される方がいれば、写真を送って下さい。私も出場しますが、カメラ片手に出沒しますので、みなさんのナイスプレーとナイススマイルを振りまいて下さい。

くれぐれも怪我のないように、そしてフェアプレーをお願いします。